

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 こども発達支援事業所エールマリヤ

スタッフ数 5名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	利用目的にあった部屋使いになるよう教材や備品等を調整している。	基本的に個人療育のため、部屋のスペースは確保できている。
	②	職員の配置数は適切である	4	1	現状、一人ひとりがしっかりと関わることができている関係だと思う。	配置数が適切になるように行っていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	シンプルに、また教材などの位置はわかりやすく設置している。	今後とも継続していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	毎日の清掃で清潔が保たれるように努めている。	今後とも清潔を保たれるように継続していく。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	職員一人ひとりが目標設定と振り返りが行えている。	今後とも継続できる環境を整えていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	初年度なのでまだ行っていない。 現在進行中。	3月にHPで公表予定。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	初年度なのでまだ行っていない。 現在進行中。	3月にHPで公表予定。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	初年度なのでまだ行っていない。 現在進行中。	第三者委員会があるので、外部評価をしていただけるよう調整していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・法人研修や開所初期に研修の機会があったが、研修の為の定期的な時間の確保はされていないので学ぶ機会が増えるとい。 ・現状としては確保しづらくなってきている。 ・研修の機会を確保しているが今後より時間増やせていけたらいい。	利用者数が増えるにつれ研修を行う時間が酸欠になってしまった。今後は研修が行えるように時間の調整、または動画などでいつでもチェックできるようなものを導入していきたい。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	保護者のニーズ課題を把握し計画を作成するように努めている。	今後ともアセスメントをしっかり行い家族のニーズにあった支援計画を作成していきたい。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	・保護者へは作成したアセスメントシートを使用している。 子どもの行動状況をするために職員は統一した1つのアセスメントツールを使用していない。 ・共通の検査フォームを使用。	アセスメントシート・ツールは、スタッフによって使ったり使わなかったりと差ができてしまっているため、今後は共有していきたい。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	支援内容の具体性は乏しい部分もある。	ガイドラインにそって支援計画を作成できるように、改めて見直していきたい。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	計画書をしっかりと読み、確認し支援を行っている。	今後とも支援計画にそって支援を行っていく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	話し合いが行えない時もある。	話し合いが行えるようにスケジュールを調整していく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・日々その子の状態をみて、状況により活動を考えている。 ・季節感も感じられるように工夫している。 ・常に振り返り、子どもの興味・関心が持続するようにアプローチの仕方に工夫している。	こういった工夫を今後とも継続できるように環境を整えていきたい。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	5	0	・他児との関わりも増やせるようにしていく。 ・一人ひとりに応じた対応をしている。 ・子どものねらいにそって個別から小集団→集団とつながるように配慮している。	個別療育が主であるが、必要に応じて集団も行っていけるように環境整備含め、しっかり対応していきたい。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・朝礼や終礼で一日の流れ(担当や部屋の割り振りなど)の確認を行うように努めている。 ・勤務時間的に参加できないスタッフがでてきても、そこで話し合った情報は共有できるようにしている。	今後ともこの共有は続けていきたい。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	・時間をみて行っている。 ・時間をみつけて共有など話し合いはできている。	今後ともしっかりと共有が続けられるように時間をつくっていききたい。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	日々の記録はしっかりと記入するように努めている。時間的に書ききれない際は後日に記入している。	記録漏れがないようにチェックする体制を整えていききたい。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	一人ひとり、モニタリングだけではなく、しっかりと振り返り今後の関わり方や方向性を定めている。	スタッフ間でのミーティングがとれるように時間を作っていききたい。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2	・こども園併設ということで、クラス担任と支援担当者が話をする機会がもっとあっても良いと思う。 ・併設の園との会議はあるが、サービス担当者会議はまだ行っていない。	現状、児発管が出席を主に行っているが、今後は時間をみて他スタッフも参加できるように調整を行っていききたい。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	こども園、幼稚園と連携を図っている。	併設している園だけでなく、他の園とも連携できるように体制を整えていききたい。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	対象児なし。	現状、対象児はいないが、希望があれば受け入れていく。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5	対象児なし。	現状、対象児はいないが、希望があれば受け入れていく。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	併設している園、すぐ向かいにある幼稚園と支援内容の共有等を行っている。	併用して利用している園に関してはかなり細かい部分まで情報の共有やアドバイス等も含めた相互理解に繋がっていると思う。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	5	これからの課題。	今後、小学校や特肢と連携がとれるようにしていきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
連携	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	今後、そのような機会があると嬉しい。	法人内の別事業所とは会議を通じて連携をとれているが、まったくの他事業所とはまだ連携をとったりはしていないので、今後そういったつながりを増やしていきたい。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	0	園と併設しており、交流機会は多い。	交流する機会を継続して提供していきたい。
	㉒	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5	八千代市の協議会には挨拶はあったが、参加とまではしていない。	今後、八千代市のそういった会議に参加できるようにしていきたい。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	連絡帳や送迎時に伝え合い共通理解を図っている。	併設での利用方法のため直接会う機会が少ないが、何かあれば話し合える機会や譲歩の共有ができるように継続していきたい。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3	・今後行っていく必要あり。 ・できている家庭とそうでない家庭とあるように感じる。 ・体制が整い次第、取り組んでいきたい。	家族支援プログラムは今後の大きな課題と考えている。そのための研修を受けていきたいと考えている。
保護者への	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	分からないとこがないように、反応を見て説明するように努めています。	今後ともしっかりと説明を継続していきたい。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	特になし。	ガイドラインにそって支援計画を作成できるように、改めて見直していきたい。
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	定期面談はないが、送迎時に合った時に話したり連絡帳を利用している。	定期的に面談を行っていけるように機会を作りたい。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	・今後行っていけるとよいのかなと思う。 ・今後開催し、交流の場を設けていくことが必要。	来年度は開催できるように準備を行ってきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
説明責任等	⑶⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	上司へ相談対応している。	今後もしっかりとした対応を継続していきたい。
	⑶⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・おたよりを発行している。 ・メールだよりを途切れないよう努力を要する。	定期的に広報誌(メールだより)の発行の継続をしていきます。
	⑶⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	年度初めに内部研修を行った。	取り扱いについての研修も定期的に行っていきたい。
	⑶⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	保護者とは連絡帳での情報伝達を行っている。お子様とは視覚・聴覚からの過度な情報が入らないように部屋の中など配慮している。	改めてどういった配慮が必要なのか、話し合う機会を設けていきたい。
	⑶⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	事業所初年度のため、これからの課題。	行事の開催を目標にしていきたい。
非常時等の対応	⑴⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	各責任者を作ることで、職員には周知しやすい環境ができた。また、玄関にマニュアルを提示することで周知しやすい環境を整えた。	家族が見学にくることが少なく、保護者への周知は足りてない部分があったので、今後どうやって周知していくか話し合う機会を設けたい。
	⑴⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	併設している園の訓練と一緒に参加している。	今後とも継続していきたい。
	⑴⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	アセスメントシートに記入する欄を設けている。	今のところは現状のアセスメントシートを使っていく予定。
	⑴⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	今現在、その様な子はいないが、今後在籍するようになった時には十分、配慮していく。	併設している園と併用の子に関しては、食事提供は園と同じになっている。なので、指示書等はいただいていない。
	⑴⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	ヒヤリハット事例集としては作成していないが、ヒヤリハットがあれば記入しみんなで共有するし、今後の対応も含め話し合う時間を作っている。	今後もしっかりとした対応を継続していきたい。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	年度初めに内部研修を行った。	その後は時間が取れず、そういった研修を行えていない。今後、様々な研修を行えるようにしていきたい。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	契約書・重要事項説明書に記載しており、家族には契約の際に説明を行っている。	支援計画に記載していないので、今後は記載していきたい。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。